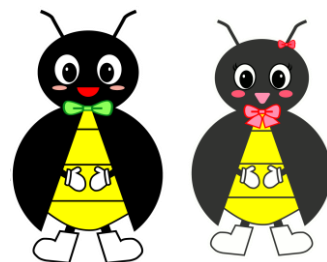


二条里づくりの会



祝

平成30年度 ふるさとづくり大賞
総務大臣表彰（団体表彰）
受賞記念祝賀会の桀



日時：平成31年 2月24日（日）

午前11時～午後1時

場所：桂平小学校（旧西南中学校）体育館

主催：二条里づくりの会

【受賞の経緯】

- 平成24年 8月 ～ 「二条地区の将来をみんなで考えよう」住民集会
- 平成25年 4月 ～ 益田市の新しい地域自治組織のモデル地区に指定
- " 7月 ～ 「二条地区地域自治組織準備会議」設立
- " 8月 ～ まちづくりに対する戸別聞き取り調査
- " 12月 ～ 戸別聞き取り調査集計結果報告会
- 平成26年 1月 ～ 「地元学 in 二条」の開催（島根県中山間地域研究センター共催）

- " 4月 ～ 設立に向けて、連日連夜の会議開催
- " 8月 ～ 二条地区地域自治組織「二条里づくりの会」設立
「なりわい」・「ひと」・「くらし」の3部会を設置
- 平成27年 5月 ～ 二条地区「元気な邑づくりプラン」及び活動計画を策定
（平成27年度から平成31年度の5年計画）し、地域の将来像
「里山をいかし、人と自然がつながる二条～みんなで つろうて
ようしょうやぁ～」の実現に向けて、活動開始
- " 6月 ～ 益田市における地域自治組織として「第1号」の認定
- 平成28年 3月 ～ 「郷づくり活動表彰」（島根県知事 溝口善兵衛）を受賞
- 平成30年 3月 ～ 「中国四国地域鳥獣被害対策優良活動表彰」（中国四国農政
局長 坂井康宏）を受賞

〔直近の経緯〕

- 平成30年 7月 初旬 ～ 市人口拡大課より大賞への推薦の話があり、受け入れ
- " 7月20日 ～ 益田市より島根県へ、推薦書提出
- " 10月 上旬 ～ 11月 上旬 現地視察が無く、諦め
- " 11月15日 ～ 島根県より「中国四国地域鳥獣被害対策優良活動表彰」
受賞時以降の資料提出を求められ、その資料を即、「国」へ
転送するとの内容に、一同驚き
- " 12月25日 ～ 夕方5時43分、島根県より人口拡大課へ「受賞」のメール
入電
- " 12月26日 ～ 朝9時前、人口拡大課より二条公民館に電話があり、
「おめでとうございます。総務大臣表彰受賞だそうです」との
吉報。新聞紙上での公開は、年明けの1月中旬との内示
- 平成31年 1月21日 ～ 昼過ぎ、総務省のホームページ上で「平成30年度ふるさと
づくり大賞受賞者の決定及び表彰式の開催」が公開
- 平成31年 1月22日 ～ 「山陰中央新報（25面）」・「中国新聞（3面）」にて、
新聞紙上に掲載
- 平成31年 2月 4日 ～ 東京都千代田区平河町の都市センターホテルにて、表彰式
に臨む
- 平成31年 2月 7日 ～ 益田市役所に山本浩章市長を表敬訪問し、受賞を報告
- 平成31年 2月24日 ～ 「受賞記念祝賀会」を盛大に開催（本日）

以上が、受賞までの経緯を時系列にまとめたものです。

【表彰式の様子】

表彰式は2月4日（月）、東京都千代田区平河町の都市センターホテルにて午後1時より開催され、益田からは品川勝典会長と豊田繁雄副会長、豊田実事務局長と堀江宗仁応援隊員の4名に、政策企画局人口拡大課より渡邊康幸主任の5名が参加されました。

今年は、全国より「24団体・4個人」が選出され、その内の1個人、それは本会が平成26年3月に訪ねた鹿児島県鹿屋市の柳谷集落、通称「やねだん」の豊重哲郎（とよしげてつろう）さんで、最優秀賞の内閣総理大臣賞・総務大臣表彰を受賞され、3月には首相官邸で安倍晋三内閣総理大臣より直接、表彰状を授与されるそうです。

尚、今年度は島根県内より「2団体・1個人」が選出され、もう1団体は安来市の「えーひだカンパニー株式会社」（団体表彰）、1個人は松江市の「田中輝美さん」（奨励賞）であり、全国で計28団体・個人が選ばれた中での計3団体・個人の選出というのは、島根県の頑張りが評価されてのことだろうと思われています。

本会の選出理由は、「人口減少・少子高齢化の影響による若者世代の減少、高齢化世帯の増加、農業等の担い手不足、中学校の統廃合などの様々な課題を解決していくため、住民主体の地域運営を進める地域自治組織を立ち上げ、『定住対策・次世代育成・里山保全・歴史や文化の継承・地域資源の掘り起し・特産品のブランド化・情報発信・地区内外との交流』を繋げる元気な邑（むら）づくりプランに地域ぐるみで取り組んでいる」点が評価されたようです。

1時からの表彰式の後、品川会長ら受賞者代表の記念（集合）写真撮影があり、2時半からは前出の豊重氏ら3名の事例発表を聞かせて頂き、3時半から1時間ばかり懇親会がありました。その席では、豊重氏と親しくお話させて頂き、旧交を温めたところでした。また、安来市のえーひだカンパニー株式会社からは3名が出席しておられ、先方も当方を探しておられた様子で、目が合った瞬間近づいて来られ、これまた初対面とは感じさせない程親しく、色々意見交換したところでした。ちなみに田中輝美さんは当日、欠席しておられました。

望外の受賞の旅に接し、一同心の高ぶりを抑えることが出来ずにいたのと同時に、今後の活動への決心をまた改めてさせられたと感じた3日間でした。



感動の益田5人組！

【会長挨拶】 当日挨拶の全文掲載

会場の皆様、おはようございます。

ただいまご紹介を頂きました、二条里づくりの会 会長、品川でございます。主催者を代表して、ひと言ご挨拶を申し上げたいと思います。

本日はご多忙中のところ、皆様方には「平成30年度ふるさとづくり大賞 総務大臣表彰（団体表彰）受賞記念祝賀会」にご出席頂きまして、誠にありがとうございます。また、公私共にご多忙の中、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様方には、心よりお礼を申し上げます。

「二条里づくりの会」は、平成26年8月30日に設立し、翌27年6月17日に益田市の第1号として、住民主体の運営組織である「地域自治組織」の認定を受けました。

そして、二条地区の課題解決のために「元気な邑（むら）づくりプラン」を立て、「5ヶ年の活動計画」を現在まで実践して来ております。

その4年目となった今年、図らずも「平成30年度ふるさとづくり大賞 総務大臣表彰（団体表彰）」の受賞という素晴らしい栄誉を、頂戴することとなりました。この事は、私共「二条里づくりの会」に対し、島根県中山間地域研究センターをはじめとした島根県、及び益田市の関係部局の皆様方の並々ならぬご指導ご支援の賜物と、深く感謝しております。

さて、この二条地区も人口減少・高齢化の影響を受けて昨年3月には、「益田市立西南中学校」が59年の歴史に幕を下ろしました。また、空き家や耕作放棄地の増加、イノシシやサルなどの有害鳥獣被害も後を絶ちません。更には、美しいホテルが舞う里山の保全活動や担い手不足に対する人材育成、独居高齢者の増加による病院通いや買い物支援の方法など、解決したい課題は山積しています。

そんな中、7年前の平成24年の夏、「二条地区の将来をみんなで考えよう」と開催した住民集会から今日まで、地域の皆様方の温かいご指導ご支援のお蔭で何とか地域づくりを継続して来ることが出来ました。

今後はこの受賞を励みに会員が一致協力して、この二条地区を益々心豊かに活力溢れる地域にして行き、「住んで良かった。来て良かった。また来てみたい」、そんな「ふるさと」にして行きたいと思っています。

終わりに、本日の会の開催に当たって多大なご支援ご協力を頂きました関係者の皆様に心よりお礼の言葉を申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。

平成31年 2月24日

二条里づくりの会
品川勝典

